

自転車の緩衝装置

概要・品質・性能

自転車用サドルや車体構造に利用して衝撃を和らげることができる緩衝装置。自転車に乗って路面上を走行する際に、お尻に伝わる衝撃や振動を吸収する装置は、衝撃を垂直と水平に引っ張ってクッション効果を発揮する構成（特許）。

従来の自転車のサドル及びサスペンションは走行中は重力の水平移動によって重力が軽く浮き上がり、軽くなるとサスペンションは作用しなくなるので、振動によってお尻が痛くなるが、本装置は衝撃を垂直と水平に吸収しこの問題を解決する。

シートポストを開発し、ひきバネをゴムを使うことで快適な乗り心地を発揮している。

お尻が痛くないサドル



用途

(1) 自動車、自転車、サドル、自転車のサイドカー、リヤカー、乳母車、車椅子、ストレッチャー、救急車の寝台、健康器具、木馬のリハビリ器具

技術移転

(1) 形態 特許売却、特許実施権供与
(2) 相手先 問わない
(3) 地域 国内に限る

実用化・情報

特許等

[試作・実験] 未了
[製造・販売実績] 無し
[技術情報の提供] 技術資料、特許公報等
[情報提供者] 大浦緩衝開発 大浦昇次郎
[連絡 (公財)りそな中小企業振興財団 事務局
先] TEL.03-3444-9541 FAX.03-3444-9546

特許番号：特許第4480035号
登録日：平成22年3月26日
特許権者：大浦昇次郎
発明名称：「衝撃緩衝装置」